

突然の社長交代に期待と不安交錯する

# 東芝

引き継ぎ不動産、建設銘柄への関心が高い中、毛色の変わったところで総合電機大手の東芝が3位にランキングされた。

## 企業価値検索サービス ユーレット アクセス上昇ランキング

東芝は、春闘が大詰めになった17日に定期昇給の実施を4月から一時凍結する方針を固め、事実上の賃下げに踏み切った。

	銘柄	取引所	株価(円)
1	ラディアホールディングス	東証2部	420
2	アーネストワン	東証1部	98
3	東芝	東証1部	281
4	コスモスイニシア	ジャスダック	38
5	西松建設	東証1部	75

※19日終値。http://www.ullet.com/

る方針を打ち出した。任期4年での交代は、西田社長本人が就任当初から決めていたというが、実行力と力リスマ性のある西田社長の交代劇に期待と不安が入り交じる。

もうひとつ、東芝がロシア国営原子力会社ロスアトム傘下の企業とともに、日本国内でのウラン濃縮施設建設計画が明るみになったことも注目を集めた。東芝の株価は2月23日につけた年初来安値204円で底を打った感があり、シリ高のトレンド基調がはつきりしてきたことか

ユーレット 上場企業4000社の決算書と複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。

安定成長が見込める重電部門出身の佐々木氏起用で、事業の選択と集中を加速す